Ver1.8

インクカートリッジ（J893,J894,J895,L120,L121）の清掃方法

2005 年 8 月

富士ゼロックス株式会社

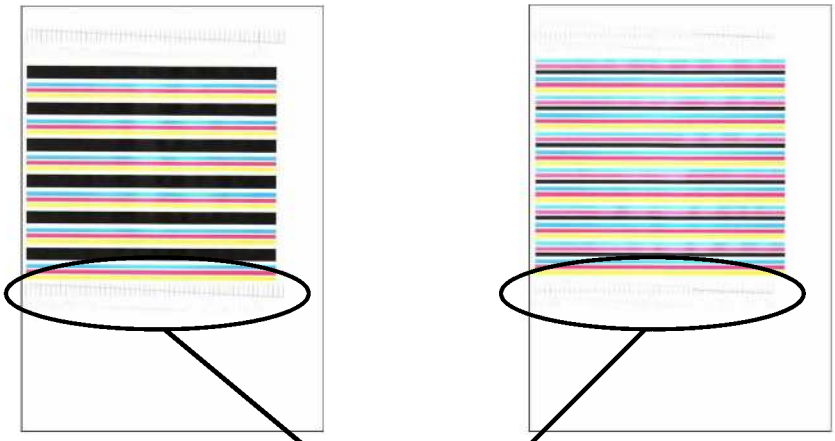
いつも富士ゼロックス商品をご愛用いただき誠にありがとうございます。ご使用いただいておりますインクジェットプリンター／複合機で画質不具合や色抜け（スジ）等が発生した場合、下記のインクカートリッジの清掃をお試しください。

【クリーニングの際にご用意いただくもの】
（1）プリンターが接続されているパソコン
（2）A4 サイズの用紙
（3）ケバ立ちの少ないガーゼや綿等の清潔な布 2 枚、およびビニールシート
（4）ぬるま湯（40℃～50℃程度：やけどにご注意ください）

① パソコンよりカートリッジのクリーニングを行います。（クリーニングの方法は、お手持ちの取扱説明書を参照。）

② 下図のような「ノズルチェックパターン」が出力されますので、〇で囲まれている斜線部分を確認してください。斜線部分が途切れることなく鮮明に印刷されている場合、ノズルは正常動作を行なっております。2,3 度クリーニングを行っても斜線部分に途切れがある場合は③に進んでください。（機種によって「ノズルチェックパターン」画像は多少違いますが、確認する部分はほぼ同じです。）

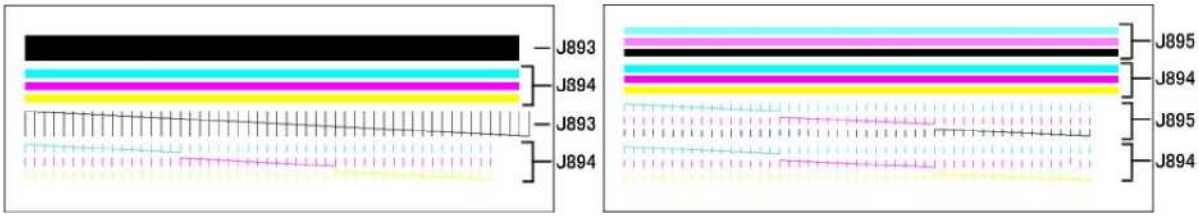
J893 および J894 使用時のサンプル　　J894 および J895 使用時のサンプル



斜線部分に途切れがある場合は下図のような結果になります。

③ 下記サンプルを参考に、途切れがある斜線に該当するカートリッジの種類を判断します。（JetWind E40 は逆の印字順番になっていますのでご注意ください。）

J893 および J894 使用時のサンプル　　J894 および J895 使用時のサンプル



④ JetWind 500C/600C/610C/E40 は、フロントカバーを開けて該当カートリッジを取り外してください。
WorkCentre 1150J/1151J は、スキャンユニットを持ち上げて操作パネルより操作をして該当カートリッジを取り外してください。
WorkCentre 1152J は、スキャンユニットを持ち上げて該当カートリッジを取り外してください。
（各機種の取扱説明書を参照してください。）

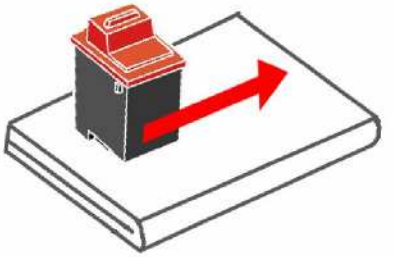
金属接触面の拭き方

⑤ ぬるま湯を湿らせて強く絞った布で、カートリッジの金属部分（ラベルが付いている面の反対側）を、右図の通り一定方向に拭き取り、その後、乾いた布で残った水分を拭き取ります。

⑥ 机などの台上に布を 2 重に折りたたんで置き、布にぬるま湯を充分に湿らせます。（持ち上げても水分が落ちない程度）
布の下には周囲が汚れないように、ビニールシート等をあらかじめ敷いてください。

⑦ カートリッジのノズル面を下に向けて布に押し付け、下図のように矢印の方向の1方向に 5cm 程度「ずらし」ながらノズル面の清掃を行ないます。（「ずらす」方向にご注意ください）
布に押さえつける場所を変えて再度「ずらし」ながらノズル面の清掃を行ないます。（合計 2 回）

⑧ 乾いた布でノズル面に残った水分を一定方向に軽く拭きます。



ノズル面の拭き方

ノズル面の拭き方
（下から見た図）

⑨ カートリッジをプリンターに取り付けます。

⑩ ①②の作業を繰り返します。
※【注意】①あるいは⑨の作業で、パソコンにカートリッジの選択画面が表示された場合には「古いカートリッジ」を指定してください。
WorkCentre 1150J/1151J/1152J では、本体のディスプレイに「L-C」や「r-C」が表示された場合にはクリア/ストップボタンを押します。

⑪ 以上でカートリッジのクリーニング作業は終了です。

ノズル面の拭き取り作業を行なった後もノズルチェックパターンの斜線部分に途切れがある場合には、再度⑤～⑩の作業を繰り返し行なってください。計 2 回実施していただき症状が改善されない場合はインクヘッド部分に障害が発生している恐れがありますので、大変お手数ですが弊社カストマーコールセンターにご連絡ください。

＜カストマーコールセンター＞

フリーコール　0120-86-2209 または 0120-78-2209、FAX　048-797-3301

[受付時間]　平日 9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日および弊社指定休業日を除く）

お問い合わせは、日本国内のお客様に限らせていただきます。

フリーコールは、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機・PHS からはご利用になれません。

全国通話できる電話機をご使用ください。

携帯電話機・PHS の場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

048-791-3382(通話料はお客様のご負担となります)